

命の週間における各学校の取組について

【清瀬第三中学校】

主な取組	具体的な内容	・学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
全校朝礼で安全指導	・職員朝礼、及び職員会議等を通じて校長から全教職員に情報の提供をするとともに、生徒の安否確認の徹底と気になる生徒の把握を指示した。 ・全校朝礼で校長より命の大切さについての講話 ・全校朝礼で生活指導主任より、安全指導	・校長講話を通して命を大切さについて伝えた。生徒の気になる言動を些細な変化から感じ取れるよう、教員の感度を上げる取組を行っていく。気になる生徒がいる場合、早めにＳＣとの連携を図った。 ・夏休み中の事故、事件、トラブル等についての報告依頼 ※来年度はアンケートを実施予定
ステップルームによる不登校生徒への支援	特別支援担当教員、家庭と子供の支援員でチャレンジルームを運営。不登校、登校しぶりの生徒に対して、家庭連絡を密にし、登校を促すとともに、別室登校の対応を行った。	教室に入れない生徒の居場所として今年度開設したチャレンジルームを積極的に活用した。教科担任と連携して個別指導を行い、学校の雰囲気に慣れさせ、少しでも登校できるように働きかけた。
ＩＣＴ機器の活用	Google hangout を活用し、担任等が不登校生徒とオンラインで面談を行った。	お互いに顔を見ながら会話を行うことで、より深くコミュニケーションが図れた。今後は Google Meet に移行していく。
特別支援校内委員会の活用	特別支援教育校内委員会で気になる生徒をピックアップし、関わり方について検討を行った。早期対応（予防的対応）を積極的に行った。	特別支援教育コーディネータを中心に、ＳＣ、サポートルーム担当教員・専門員、巡回心理士、ＳＳＷ、教育相談室と連携を図り、生徒・保護者により沿う取組を行った。
あいさつプラス一言の励行	生徒登校時、昇降口で主に副担任によるあいさつと声かけを実施。	複数の教員の目で、登校してきた生徒の様子を観察し、気になる生徒の早期発見と対応に努めた。
教育相談	２年生：教育相談 １・３年生：気になる生徒への声掛け・教育相談	課題：アンケートを実施、全員対象に教育相談を実施する。